

令和 8 年度事業計画

〔基本方針〕

関西国際空港は、成長目標である年間発着回数 30 万回をめざし、昨年 3 月には新飛行経路の導入による容量拡張、本年 6 月には第 1 ターミナルビルの大規模改修が完了するなど、受入体制の整備が着実に進められてきた。また、足元では国際情勢の影響を受けつつも、旺盛なインバウンド需要に牽引され、2025 年度の総旅客数・総発着回数が開港以来最高を記録したところである。

こうした状況の中、関西のさらなる成長のためには、旺盛なアジアの需要の取り込みに加え、欧米をはじめとする国際線就航ネットワークの多角化や、越境 E C 貨物の急増などに対応した国際貨物取扱機能の強化など、関係者が連携し、関空の機能強化を進めていく必要がある。

このような認識のもと、関空が世界のゲートウェイ空港としての役割を果たしていけるよう、国に対し、関空の就航ネットワーク及び国際貨物取扱機能の強化や、円滑かつ快適な受入体制の整備、関空アクセスの強化などに必要な措置・支援を求めていく。

また、本協議会の取組としては、令和 8 年度は、前年度の主な取組を継続、深化させることとし、航空会社と連携した利用促進など「関空のさらなる成長に向けた就航ネットワーク強化」に取り組む。また、国際貨物機能の強化や関空アクセスの利便性向上など「空港機能の向上に必要な取組」を行うとともに、地域と空港の共存共栄を進めるため「関空の立地効果波及推進」に取り組む。

こうした取組を通じ、関西そして我が国が発展していけるよう、重要な成長エンジンである関空の成長を後押ししていく。

I 各種会議等の開催及び要望活動の実施

- (1) 総会の開催
- (2) 理事会の開催
- (3) 理事・特別参与・参与団体担当課長会議（事務局会議）の開催
- (4) 要望活動の実施 等

II 広報活動の実施

- (1) ホームページ及びメールマガジンによる情報発信
 - ・本協議会の活動状況のほか、関空や航空会社の取組、各自治体の観光情報等を情報発信するホームページの運営を行うとともに、メールマガジンを配信する。
- (2) PRパンフレット等の作成
 - ・本協議会のPRパンフレット等を作成し、総会や国への要望活動、航空会社へのプロモーション活動等を行う際に配付する。

III 管理運営

本協議会の運営を行い、必要な事務局経費の経理処理を行う。

IV 関西国際空港ゲートウェイ機能強化促進事業

- (1) 関空のさらなる成長に向けた就航ネットワーク強化
 - ・航空会社と連携し、新規就航や増便などの機会を捉え、インバウンドを対象とした関空路線のPR事業や海外から関西への招聘旅行等に取り組む。また、航空会社や就航先自治体等と連携し、厳しい事業環境にある国内線の利用促進に取り組む。
 - ・関空国際線の就航促進に向け、海外航空会社等へのプロモーション活動に取り組む。
- (2) 空港機能の向上に必要な取組
 - ・国際貨物取扱機能の強化に向け、物流事業者等と連携した利用促進に取り組む。
 - ・関空利用者が円滑かつ快適に関西各地へアクセスできるよう、交通事業者が行う利便性向上に向けた取組や、空飛ぶクルマの関空乗り入れに向けた取組等を支援する。
 - ・中長期的な空港運営を見据えた空港内事業者等が行う人材確保の取組を支援する。
- (3) 関空の立地効果波及推進
 - ・関係自治体等と連携し、関空立地の経済的効果を十分享受できていない地域が、その経済的効果を取り込む事業を支援する。